

Title	大阪大学歯学雑誌 第66巻2号 目次
Author(s)	
Citation	大阪大学歯学雑誌. 2022, 66(2)
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/93184
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

大阪大学歯学雑誌

The Journal of Osaka University Dental Society

June 2022 Vol. **66** No. **2**

大阪大学歯学会

The Osaka University Dental Society
OSAKA JAPAN

大阪大学歯学雑誌

Vol.66 No.2 Contents

規 定

- 2022年度 大阪大学歯学会 優秀研究奨励賞 規定
2022年度 大阪大学歯学会 優秀海外発表大学院生奨励賞 公募要項

総 説

- 口腔顔面領域の神経障害性疼痛の緩和に対するドパミン神経系の関与 ————— 前 川 博 治 (他1名) 1
歯髄幹細胞の脈管形成能における VE-cadherin の役割 ————— 佐々木 淳 一 (他1名) 5
臼歯部遊離端欠損のインプラントが
欠損に隣接する歯の喪失に与える影響の検討 ————— 八 田 昂 大 (他4名) 9
成長板軟骨の成長に関わる Wnt シグナル反応軟骨前駆細胞の解析 ————— 宇佐美 悠 11
口唇裂・口蓋裂の総合的一貫治療を考える
—治療への取り組みと今後の展望— ————— 田 中 晋 17

原 著

- 関節軟骨細胞における GDF5 の役割の解明 ————— 大 川 真 季 23

症例報告

- 口蓋垂癌と舌癌が重複して発生した1例 ————— 和 田 剛 信 (他5名) 41
Orthodontic management of a patient who underwent anti-cancer therapy
for acute myelogenous leukemia: A case report ————— Naoki Yoshida (他4名) 47
内側翼突筋に進展し開口障害をきたした小児の下顎骨類腱線維腫の1例 ————— 松 賀 ひとみ (他8名) 55
下顎下縁平面の急傾斜を伴う骨格性開咬カムフラージュ症例 ————— 原 口 誠 自 (他1名) 61
矯正歯科治療後に ICR を発症し再治療を行った1治験例 ————— 岡 由 佳 (他2名) 67
一次的整復固定が行われなかった上顎の外傷性嵌入側切歯に
歯科矯正学的牽引を施した一治験例 ————— 社 浩太郎 73

Information

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 会務報告 ————— 79 | 教室研究紹介 |
| 大阪大学歯学会会則 ————— 87 | 大阪大学大学院歯学研究科 |
| デジタルデータ出稿の詳細 ————— 90 | 口腔治療学教室 ————— 93 |
| 引用文献の表記ルール ————— 90 | 大阪大学大学院歯学研究科 |
| 歯学会雑誌原稿投稿時のセルフチェックシート — 91 | 口腔生理学教室 ————— 95 |
| 誓 約 書 ————— 92 | |

表紙のことば

我々の教室では、歯周組織再生剤リグロス[®]の適応拡大のため、歯根膜細胞の細胞機能に及ぼす FGF-2 の影響に関する基礎的研究 (写真、右上) や足場材 (骨補填材) を併用した臨床研究を行っております。またマウス絹糸結紮歯周炎モデル (写真、左上: マウス絹糸結紮像、右下: μ CT 像、左下: HE 染色像) を用いて歯周病の発症メカニズムや歯周組織の恒常性維持機構の解明に向けた研究を行っています。 (口腔治療学教室)

規 定

2021年度 大阪大学歯学会 優秀研究奨励賞 規定

2021年度 大阪大学歯学会 優秀海外発表大学院生奨励賞 公募要項

総 説

ラット根管治療モデルを用いた高周波根尖療法の評価 ————— 松 井 沙 織 (他3名) 1

A poly(lactic acid/caprolactone) bilayer membrane for guided bone regeneration
————— Gabriela L Abe (他2名) 5症例報告上顎歯列の狭窄並びに上顎歯列正中の著しい左方偏位を伴う骨格性2級の口蓋裂症例に対して
transverse distraction osteogenesis 及び SSRO を施行した一治験例 ————— 平 田 佳 永 (他4名) 11

オーバージェットの過大と多数歯の鉤状咬合を伴う過蓋咬合症例 ————— 木 下 真理子 19

Information

会務報告 ————— 25

大阪大学歯学会会則 ————— 31

デジタルデータ出稿の詳細 ————— 34

引用文献の表記ルール ————— 34

歯学会雑誌原稿投稿時のセルフチェックシート — 35

誓 約 書 ————— 36

教室研究紹介

大阪大学大学院歯学研究科
口腔解剖学第二教室 ————— 37大阪大学大学院歯学研究科
歯科保存学教室 (口腔分子感染制御学講座) ————— 39